常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電（代表）2104番
2105番

御婚礼調度家具
御家庭家具漆器（御引物）
各種豊富取揃えて御来店
御待ち申して居ります
自家製造元の
家具漆器の店　伊東家具店
平市新川町
電話（平二、四六四番）
工場　平市大町（改築中）

天気予報
「今晩」北の風、晴のち曇り。「明日」北の風、曇りで一時俄雨「海上」今晩風波がある程度。明日は風波が出てくる。

# 石城一周駅伝競走終る

# 内高定が輝く　五連覇

## 一般は内高OB、青年は四倉

石城地区陸協、石城高体連、本社などが主催する石城一周駅伝競走は二十二日午前九時、四倉町消防団本部前をスタートして、浜街道八〇・六キロのコースを高校、青年、一般の十五チーム、百十二人の選手が参加して行われ、力の祭典にふさわしい競技を片浜一杯にくりひろげ内郷定（高校）四倉連青（青年）内高OB（一般が）それぞれ優勝した。

この日は二十一日から平市でフタ明けした石城産業文化祭の中日と、ことし最後の連休の初日とが重なり、沿道は声援をおくる人波で大賑わいをみせ、よく晴れた晩秋の空のもとに絶好のスポーツ日和であり、国体出場経験のある内郷OB、内郷高定などベテラン選手をかかえた両チーム、それに精鋭揃いの小名浜水産高が最後まで三つどもえの熱戦をくりひろげ、優勝はいずこにと観衆の手に汗を握らせた。また初出場の四倉連青は選手、応援団ともによくとれたチームワークで奮斗、青年の部の優勝をかざつた。結局両競技は五、六、七の三つの区間を残すだけでコースの変更があつたため、前年度までの記録に比較できなかつたが、各コースともコンデイーションに恵まれて好記録が続出、とくに六七区間に二つの新記録を樹立した。また応援の盛大さも二十五台の自動車が旗さしものも賑わしく、一列になつて浜街道をゆくさまはスポーツの錦絵をみるような豪華さで沿道の観衆を魅了した。

## 渡辺行（平工）五人も抜く

### 好間、湯本高の善斗に拍手

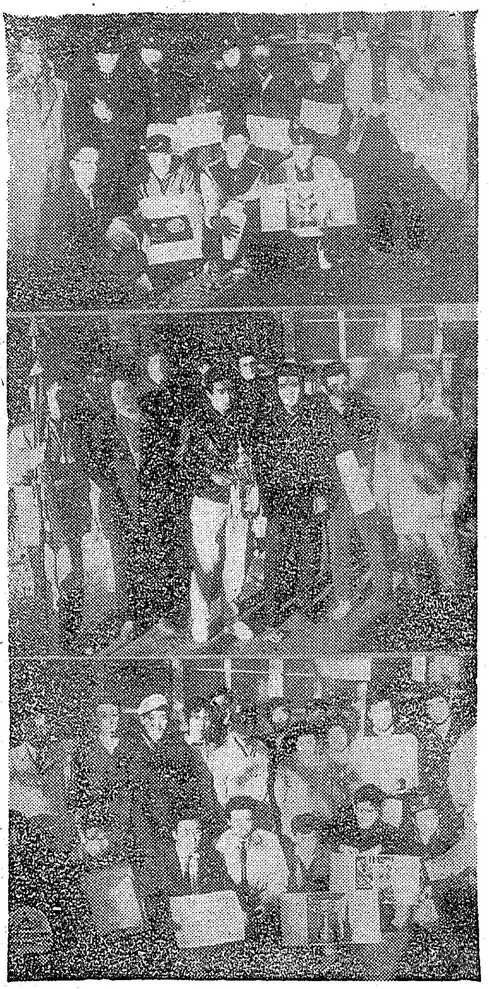
心ゆくまで澄みきつた二十二日、十五チームの勢揃いした四倉町の消防団本部前をスタートした本社など主催の第五回石城一周駅伝競走は、沿道を埋める歓呼に迎えられて、七区間八〇・六キロの石城浜街道を走破して輝かしい二つの新記録と多くの好記録を残したが、以下は七区間をひた走りに走る選手たちと沿道のもようを紙上録音してみた。「五分前」「三分前」「三十秒前」と審判の号令が急を告げるように響き渡る。出発点の四倉消防団本部前に詰めかけた地元四倉町の人たちが緊張して見守るうちに秒は刻まれ、十五人の選手は一斉にスタートラインに並ぶ。—緊張した一瞬のうちに号砲一発—一斉にスタートをけつて最初の力走に入る。選手十五人が一団となつて冷たい潮風の吹く街をかけていく。

両側に陣取つた地元民の目は一斉に地元四倉町の代表選手にそそがれる。この区間は地元から四倉高校の和知洋文君と四倉連青の松本議一君の二選手が参加、沿道はこの二人の地元選手に声援が集つているようだ。

親時計を積んだ車を先頭に本部、審判車など十数台の車が選手の間をぬうように、追つていく。選手たちの速度を自動車のメーターで追ると十五キロ前後のスピードである。四倉町はずれにさしかかるころから内高定の田子選手が早くもトツプに立ち、これを追うのが小名浜水産の大竹、続いて四倉、磐農、小名浜高、平工とがせり合うようにしている。しかし、磐城セメント工場近くの松並木通りにさしかかるところに小名浜水産、内郷高定の二選手がトツプを競つている。

両側の路上は日の丸の小旗を振りながら声援する姿も見られ、地元の選手が通り抜けると一段声をはりあげ「おーい、頑張れ……」とさけぶ青年、老人の姿、また幼い子どもをおんぶしたおカミさんなど—。

四倉町と平市草野の境界点近くにくると一位の水産高の大竹君と二位の内郷高定との差が次第に大きくなり、百メートル以上も離されている。三位はと見れば内郷高OBの鈴木君は二位からさらに二百メートルの差、続く四位以下の内郷高普、四倉連青、国鉄の三者は一団となつて抜きつ抜かれつのシーソーゲームである。大差があるが一位、二位はともかくとして三者一団となつてかける三チームの応援団は大型トラツクの上から鳴り物入りの声援をおくる。とくにすさまじい？のは四倉連青の応援振りだ。大ダイコで拍子をとりながらヤンヤの応援風景は浜つ子らしい気力がこもつて見ていても気持ちがよい。草野駅前も四倉に劣らぬ黒山の人だかりで盛んな声援が続く。神谷地内の新国道舗装工事現場は片側通行で、延々続く自動車の中に選手の姿も見えなくなるが、工事現場関係者と交通整理のお巡りさんの計らいで選手は新しく舗装中を、片側の未舗装道路は自動車と選手優先のサービスには主催者一同感激ひとしお。ここを過ぎれば平市街に入る。


【写真上から高校優勝の内高定、一般優勝の内高OB、青年優勝の四倉連青】

## 応援団は鳴物入り

### 三区から内高定終始トップ

平市は二十一日からフタ明けした産業文化祭行事などでゴツタ返していた。両側に黒山のような人だかりを終始トツプをうばつてきた水産高の大竹選手が、この区間の最高タイムで二区間との中継所、平市公会堂前にゴールイン。続いて内高定、内高OBの順。

一位の大竹君からバトンタツチした水産高の木原君が平市街を抜け内郷市の国道六号線に出る。これを追うように、この区間最高タイムの内高定の相米君が矢のように突つ走る。一位の木原君と相米君の差がグングン迫る。

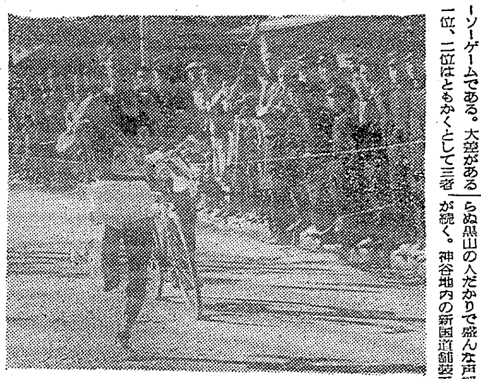
長橋町から内郷駅前までは県下一交通量の多い国道六号線も、通行する車という車がスピードを落して、ここでも駅伝優先の便をはかつてくれる。どの車も選手を見送りながら手を振る車もあるなど、駅伝ならではの協力ぶりである。

一区では地元四倉勢が沿道の声援にこたえ大奮斗したが、この区間は内高定と普同OBチームはもちろん湯本高（定）と湯本高チームも地元の声援に大奮気、三区間とのバトンタツチする湯本八仙中継所では二位だつた内郷定がついに水産高を抜いて一位をうばう。

沿道の声援も次第ににぎやかになり、長距離内郷チームの地元内郷市内は割れるような拍手をもつて地元選手に声援が飛ぶ。

このままのにぎやかな風景が雄大なズリ山のかくれる八仙中継所を過ぎ、常磐炭砿磐崎鉱入口まで続いた。

澄みわたつた晩秋の浜街道中で最も風景のよいとされている湯本と磐城市泉町との境界地点付近の国道には、すれ違う車もぐつと数が減つて、選手たちは思う存分の力を出す。この日を祝うごとく、晴れた街道の両側には取り入れも終え、ハゼ掛けの稲ものぞかれてのんびりした〃小春日和〃である。遠く湯の岳の上に絵に書いたような雲が一片、二片のぞかれる。


【写真は他チームを引き離しゴールインした内高定氏家選手】

## 平工と四高の三位争いに沸く

### 金山坂で勝敗決る

湯尻隧道にさしかかるとダラダラ坂をあえぎ、あえぎのぼる選手の後から追いかけるように伴走者、応援車のトラツクで続く。運送会社のトラツクに赤地の布に白く「小名浜水産高校」の名を染めぬいた字幕もあざやかな水産高応援団部品を寄せ集めてつくつたという平工応援団のトラツク。後車輪も前車輪と同じ二輪とあつてか、何かチグハグな格好にノロノロ走るところなど思わず吹き出したくなるような珍景だ。それに平商では某タクシーをかり切つて、中に鉢巻姿の応援者が一人、魚屋のアンチャンを思わせる格好で窓から首を出して熱演に沿道の爆笑をかう湯尻隧道を通過すれば、あとは下り坂となる。右手には常磐市の玄関口である泉駅と町並み、左手は商港小名浜港や日本水素などの工場地帯から立ちのぼる黒煙がのぞまれる。一路、松林続きの舗装道路に入る。また付近は国道六号線中で最も長い直線コースでもあり選手たちの距離が一もくりよう然だ。やがてコース中の最難関、〃心臓破りの丘〃である勿来市金山地帯の高原だ。時計を見ると十一時五十一分、記者の車はトツプを続ける内郷高定の小沼選手を追う約三分ほど遅れて内高OBの黒川選手が続く。

この〃心臓破りの丘〃で湯本高の上遠野選手の姿が人目をひく。身長も参加選手中で一番ひくいと思われる同君は一年生だという。汗が額から目、口を伝つて滝のように流れるが、ふこうともせず歯を食いしばつて丘をめざして奮斗、ハラハラさせながらも登り切つたあたり相撲であれば敢斗賞ものだろう。

この区間でドン尻の平工、渡辺選手が五人を抜いてトツプに立ち区間最高タイムであつた。

植田町、伊勢屋食品店前の四区間中継所を過ぎ勿来駅前の折返し点に入る。トツプを続けるは内高定の折原君、二位の一般内高OBの阿部君との差は三分三十秒と堂々の力走で、この区間の最高タイムである。

駅前は連休初日の家族連れ、アベツクで一杯の見物者だ。発車までバスの中は運転手も乗客も窓から首を出して見とれビリの好間青年会、気仙選手が一人もくもく力走を続ける姿に「頑張れ」の声援は私情を越えた温かさがあつた。

五区間との中継所を通過、選手は一路ミナト小名浜向け走る。

## 水産意外の健斗

### 小名浜中継は一万人の行列

このころから小名浜勢必死の奮戦がはじまる。なかでも母校の伝統と地元のために小名浜水産高の鈴木君はこの区間二位の内高OB、藤田君と二位を競りあう。林の上地内から鈴木君はピツチをあげ、市内本町の石井医院前の中継所に内高定の伊藤に続いてゴールイン二位で面目をほどこした一戦で応援の地元民を満足させた。三位は内高OB、四倉高、平工、内高普、国鉄、磐農工、平商、磐高の順でゴール。市内は平市に次ぐ人出で見物する人たちで一杯となる。六区間の豊間までのコースで市内古港地内の道路工事でう回する。太平洋沿いに突つ走るが道路はいよいよ悪く、砂地のため足をうばわれて悩む選手の姿に応援者も気をもむ。江名近くになると一位と二位間の距離も次第に大きく伸び、絶対優勢のまま内高定の独走気味だ。

### 内高定、二位を三キロ離す

中の作、江名両港では漁夫もし事を放つて応援、バン声を張りあげて、水産高の小野君を応援するあたり、海の男同志？のなごやかさ豊間中継所をすぎれば道巾は一段とせまくなり、砂地の道路はヤセ馬の背のように悪くなる。砂に足をうばわれながらも選手は最後のコースに力斗、激しい攻守戦といつたところだ。もとの高久村役場いまの平市高久支所前で、トツプの内高定のアンカー氏家選手は、二位の内高OB、後藤君を約三キロ以上も離して完全な独走を続ける。懸命に追う後藤君はかつて氏家君の先輩として指導したこともあるが、離れた距離は容易にせばめることができぬまま依然差は三キロ余。しかし国体出場経験のある後藤必死の追いに、これまた国体に出場したことのある氏家、必死に逃げる。三、四区間では追い風だつたが、コースの向きが逆になつたため、真向からたたきつける砂ほこりをまいてくる風には、力走する選手たちを苦しめた。

ここで、ぜひ紹介しておきたいのは七コース中の最も条件のよくない六、七区間でそれぞれ新記録が生れたことだ。六区では内郷高定の鈴木選手が三十一分五十七秒。七区間でも同チームの氏家選手が四十七分二十四秒の輝かしい記録を樹立したことである。

こうして黒山の人が待ちかまえる本社前の決勝に内高定が四時間二十九分五十八秒でゴール、輝く五度目の優勝をかざつた。ただ差を大きくして優勝を逸した各チームとも最後まで奮斗、若者らしい意気は優勝にまさるものがあつた。とくに湯本高と好間青年会の健斗をたたえ、次回の参加に期待したい。（S）

## 順位

### 高校の部

❶内郷定（四時間二九分五八秒）＝田子、相米、小沼、折原、伊藤、鈴木、氏家＝❷小名浜水産（四、三九、五九）❸平工（四、四四、〇六）❹四倉❺磐城、磐農工❼内郷普❽小名浜❾平高❿湯本（定）⓫湯本

### 青年の部

❶四倉連青（五、〇〇、二五）＝山口、松本、鈴木（剛）、片寄、鈴木（正）、芳賀、長谷川＝❷好間青年会（五、二五、四二）

### 一般の部

❶内高OB（四、三七、四九）＝鈴木（宗）、馬上、黒川、阿部、藤田、鈴木（勇）、後藤＝❷国鉄（四、五五、〇六）

## 区間最高

### 高校の部

▼一区…大竹（小名浜水産）▼二区…小沼（内郷定）▼三区…渡辺（平工）▼四区…折原（内郷定）▼五区…伊藤（同）▼六区…鈴木（同）▼七区氏家（同）

### 青年の部

▼一区…山口（四倉連）▼二区…安斎（好間）▼三区…鈴木剛（四倉連）▼四区…片寄（同）▼五区…鈴木正（同）▼六区…芳賀（同）▼七区…長谷川（同）

### 一般の部

▼一区…鈴木宗（内高OB）▼二区…馬上（同）▼三区…黒川（同）▼四区…阿部（同）五区…藤田（同）▼六区…鈴木勇（同）▼七区…後藤（同）

## 時間の差が大きい

### 充分な練習を望む

村上審判長

講評　昨夜（二十一日）の雨で心配されていたが、この雨で適度の湿気をふくみ舗道のホコリがみられず、若干の風があつたが最もよい条件のもとに行われた。今回は全般的にコースの変更が多く昨年の記録には比較できないが、好記録が続出したことは喜ばしい。むろん昨年以上の好記録もあつた。ただチーム間の時間差の大きかつたことが目立つていた。とくに高校においてみられるが、トツプとの差は非常に大きかつた。これは選手が出場間際まで決つていなかつたことや、練習も十分行えなかつたためで、このことが成績差となつて現われたことである。明年は出場を期して早くからチームをかため、練習を十分とつて望むようにしていただきたい。コースの変更で新記録は二つだけで終つたが、実質的には悪い成績ではなかつた。こんどは青年チームの参加で競技に花をそえたことは感謝している。とくに四倉連青チームは選手も、これを応援するものも一丸となつて多くの困難を克服し、はじめての出場に青年の部で堂々と斗い、見事第一位を獲得したことは賞賛されてよい。今後も多くの青年団チームの参加を望みたい。競技のうちで反省しなければならないのは、自動車があまりにも多かつたため、選手の走行に相当の障害になつたことであるこれはぜひ改めていただきたい

銘菓　六段最中　平凡

## 優良従業員を表彰

### 常磐　市村さんら72人

常磐市商工会議所は二十三日午前九時半から商工会館で優良従業員と永年勤続者など七十二人を表彰される人は他の模範者で勤労感謝にふさわしい人たちである。表彰者次のとおり。

（カツコ内は勤続年数）

谷田典子、野崎信子、鈴木敏子
丹野キク子、斎藤正子、志尾崎志満子、工藤チヨ、本滝タカ子
馬場梅子、山口はる子、合津律子
佐藤晴子、野竹内芳子、渡辺カツ子、熊田スエ子、永井はま子、
金成千明、松崎日出子、佐藤愛子
馬上ミチ子、田中比奈子、三瓶洋子。山野辺ミキ子、飯田タミ、
渡辺タカ子、山岸昭子、倉島美智子、馬場アヤ子
丸谷トモ　青木サカエ　石井君代　吉田冴子（以上四年）
永山勝美（五）吉田留次（七）
鈴木美二　二瓶蓉美　渡辺勝男
渋木英夫　佐藤正　原田正夫
竹内和夫　鈴木宜雄　薄葉英一
小泉勝義（以上五年）鯨岡ウメノ　吉田ミヨ　猪狩リツ　星タミ子　佐久間京子　鵜沼キク
関口光江（以上八年）大平栄司（十三）永瀬伝次（十一）塩英次・下山田義雄　戸井田勉　根本実（以上十年）土生都子　市川ヒデ　荒勝子　宮川紀子（以上十二年）植田源一　丹治ハジメ　根本三郎（以上十五年）関山ヤス子（十八）佐藤茂二（二十）鈴木信義（二十四）石井貞光（二十五）　柳内政義（二十五）服部留五郎（二十七）国分丑伊（三十四）市村勝市（四十一）

## 千円札が32枚

### 破いて山中にすてる

真中から裂かれた千円札三十二枚が常磐市内の山道から発見された

二十三日午前八時ごろ常磐市関船字上関八八、株式会社丸善モーター商会裏の山道五千円札が重ねてあるのを近所の少年が山遊びに行つて発見、常磐署に届けた。札は何にも包んでなく、三万二千円で三枚を残してあとは真中からやぶかれてあつた。山においた時間は昨夜から今朝にかけてらしく、盗んできたものかどうか同署で捜査にあたつている。

## 車の正面衝突で重傷

二十二日午前十時四十分ごろ平市仲町公会堂裏の交差点で常磐ヤンマー斉藤治己さん（一八）の運転する小型トラツクと内郷市宮町金坂五丸宮家具店阿部正次さん（一七）のバイクが衝突、このため阿部さんは頭部内出血で竹林病院にかつぎ込まれたが、重体である。原因は両車の徐行違反。

## 市職員ハねる

二十二日午後五時ごろ、常磐市関船地内のロータリーで同市上湯長谷三〇、末永昌男君（一八）の運転するオート三輪は、前から自転車できた磐城市下川字畑中一六五、市役所職員池崎三之助さん（六四）をひきそこねてはねとばし、右手に全治十日間の傷を負わせた。

## 湯本坑で一人事故死

二十一日午前一時二十分ごろ常磐炭砿湯本五坑内で採炭作業中の高橋清さん（四〇）は倒れた枠の下敷きとなり死亡した。

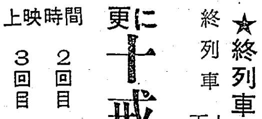
## 県の強力な運動を要請

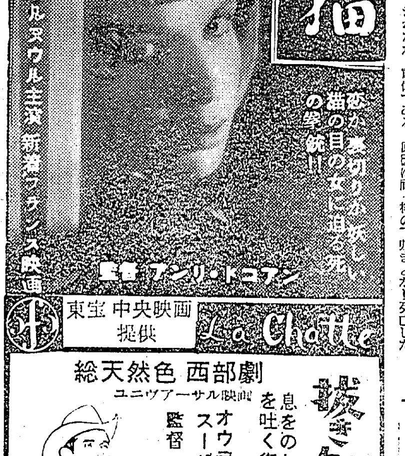
石城五市公営バス組合では、きよう午前十時から平市役所で地元選出県議を集め、バス運行についての内容を説明するとともに本省に対して強力な運動を展開してほしい旨の要請を行つた。

食通が舌を巻く味
一度是非
電話一つで一里の出前
でんわ4431・4432
庵部
喜司
酒寿

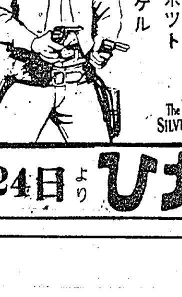
あがり青森ふり出しや信濃
秋、一番最初にできるリンゴは長野産でそれから山梨、福島、秋田の順に出まわり青森が最後です。いまの紅玉は青森で国光は長野産
越
火曜サービス
○リンゴ（紅玉）百匁　五円一ケ三円
○ミカン　百匁　七円一ケ三円
一階（食料品）スキ焼用牛肉百匁四〇円
二階（衣料雑貨）柳屋ポマード六五円
三階（衣料品）ショール七五〇円
四階（食堂）ハヤシライス卵入り八〇円
平市銀座　電話3141
藤越

セシル・B・デミル　製作監督
総天然色　世紀の超巨篇
十戒
ヘストン　チヤルートン　ブリナー　ユール
ビスタビジョン　パラマウント提供
★終列車をご利用下さい
終列車　上り1010時　下り1122分
上映時間
2回目　1時50分－終り　5時50分
3回目　6時10分－〃　10時5分
更に十戒日延べ！
12月5日より11日まで
聚楽館　TEL2470




待望の話題作
女猫
フランソワーズ・アルヌウル主演　新着フランス映画
監督アンリ・ドコアン

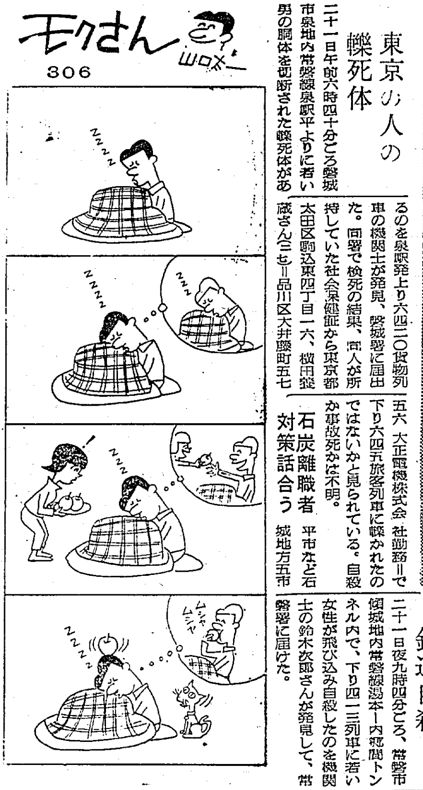
東宝　中央映画提供
La Chatte
総天然色　西部劇
ユニヴァーサル映画
抜き射ち二挺拳銃
息をのむ対決の一瞬！孤然火を吐く復讐の拳銃!!
オウディ・マーフィ　スーザン・キャボット　主演
監督ドン・シーゲル
The DUEL at SILVER CREEK
24日より　ひかり座



栄養満点な！
美味第一経済的にも神戸特選豚牛肉が一番お徳用です！
鎌倉ハム名額特約店
緑屋牛豚肉問屋
本店　平市一丁目　電二五三九
支店　平市中央通り　電二七九四

特製
干やなぎ
鰹節
かまぼこ
みりん干
折詰仕出し
けやみの浜
丸市屋本店
平四　電2213

ストーブ無料でお貸し致します
暖房用として経済的で清潔な
コークス
火力が強い
火持が良い
灰が少ない
煙突掃除がいらない
食堂・学校・ホール・病院待合室・その他・お座敷用に大好評を博しております
お早目にお申込の程お待ち申上げます
一冬に600kg（24俵）お買上げの方に
新品ストーブを無料でお貸し致します
東部ガス指定販売店
石炭　コークス　木炭
遠藤商会
平市公会堂前・電話2、360


モクさん
306
ZZZ
ムシャムシャ

## 東京の人の轢死体

二十一日午前六時四十分ごろ磐城市泉地内常磐線泉駅平よりに若い男の胴体を切断された轢死体があるのを泉駅発上り六四二〇貨物列車の機関士が発見、磐城署に届出た。同署で検死の結果、同人が所持していた社会保健証から東京都太田区駒込東四丁目一六、桜田発蔵さん（三七）＝品川区大井滕町五七五六　大正電機株式会社勤務＝で下り六四五旅客列車に轢かれたのではないかと見られている。自殺か事故死かは不明。

## 石炭離職者対策話合う

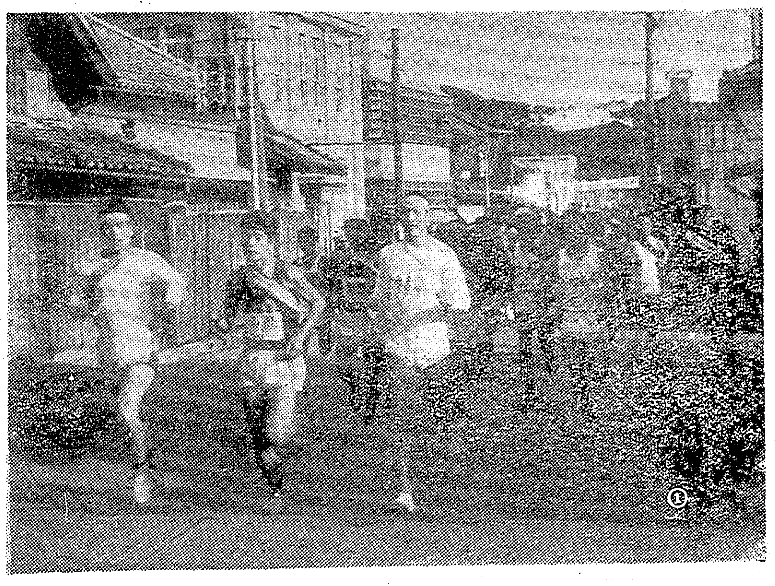
平市など石城地方五市長は二十日午後一時から県石城事務所に集まり石炭離職者対策の職業訓練所設置について話合つた。

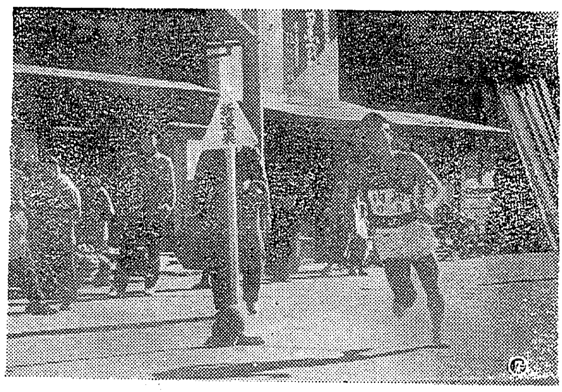
## 出戻り娘が鉄道自殺

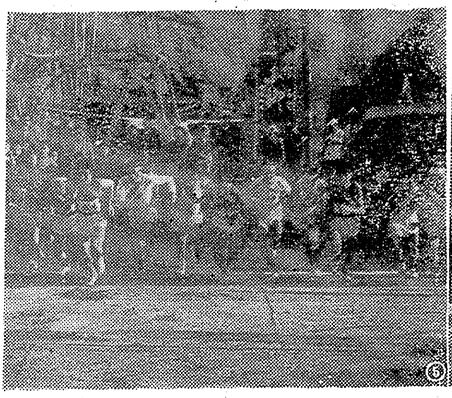
二十一日夜九時四分ごろ、常磐市傾城地内常磐線湯本―内郷間トンネル内で、下り四一三列車に若い女性が飛び込み自殺したのを機関士の鈴木次郎さんが発見して、常磐署に届けた。同市藤原小幡一〇、無職高木タマ子さん（三三）で、同人は嫁に行つたが、体が悪く出もどりしたのを悲観したもの。

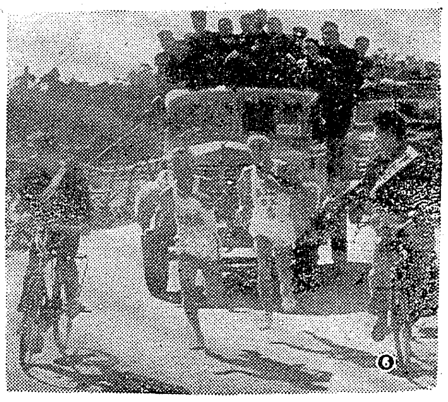
## 日本刀でおどす

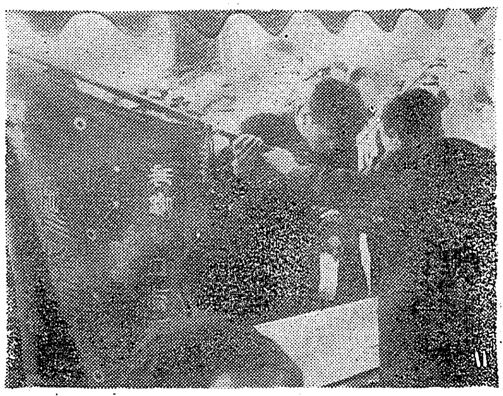
平署は十九日夜、平市六間門一六飲食業橋本伝（三七）をおどしの疑いで捕えた。同日夜十時十五分ごろ平市杉平三二、飲食業石倉保さん（三三）の経営する秀華食堂前路上で以前に石倉さんに投げ倒されたことにふんがいして、刃渡り六十七センチ（二尺三寸）の日本刀でおどかした。

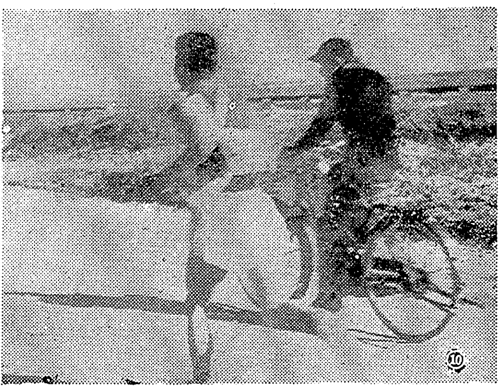


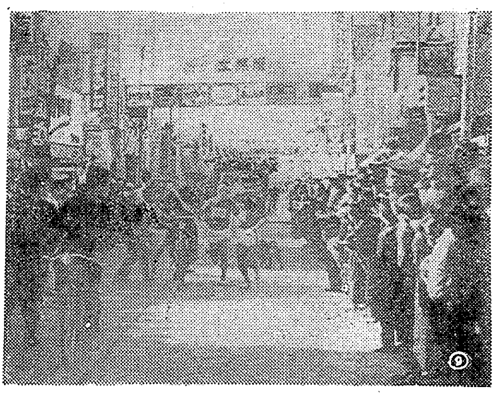












（写真説明）

①一団となつてトップ争い＝四倉町はずれにて

②ズリ山を前に快走する内高Aの相米選手＝内 市内にて

③出発前の挨拶する石城陸協会長の鈴木喜政氏

④選手宣誓する内高OBの後藤選手

⑤一斉に四倉町消防団事務所前を十五チームのトップランナーがスタート

⑥終始高校の部四位争いをつずけていた平工と四倉高＝湯本―勿来間の植田地区

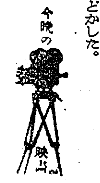
⑦勿来駅前の折返点を折返えす内高OBの阿部選手

⑧折返えして来た上位チームとこれから折返えしにむかう下位チームの顔合せ

⑨本社主催の駅伝を観ようと長蛇の列をつくつた観衆＝小名浜中継点石井医院前

⑩大平洋を一跳にする江名街道をひた走りする国鉄の日下選手

⑪表彰式で鈴木会長から優勝旗を受ける内高Aチーム



【平市】

★平館　二十四日迄　電四四四五
七、〇〇　オヤエのもぐり医者
八、〇〇　可愛い花
九、〇〇　天と地を駈ける男

★平新東宝　二十四日迄　電三六九九
七、四五　二六人の逃亡者
八、五五　湯島に散る花

★世界館　二十五日迄　電二〇五八
六、三五　蛇姫様
八、〇七　情炎

★東映劇場　二十四日迄　電三〇六五
七、〇七　ふたりの休日
八、三五　緋鯉大名

★三夜東映　二十四日迄　電三九六
六、〇三　ゆうれい小判
七、三五　黒い指の男
八、三三　くもの巣屋敷

★聚楽館　十二月四日迄　電三二〇
七、〇〇　十戒

★ひかり座　二十三日迄　電三二八
六、三五　暴力への回答
八、〇〇　掟

★民劇　二十四日迄
七、〇〇　燃える聖火
七、四〇　日本誕生

【常磐市】

★三函座　二十四日迄
お役者鮫　よさこい時雨
明日への盛装

★常磐日活　二十四日迄
風のある道
欧州かけある記

▼常磐座　二十四日迄　夜の狼
べらんめえ探偵娘
恋山彦
追跡二十五時間

【内郷市】

★綴映劇　二十四日迄
六、三〇　夜霧の空港
七、三〇　姫役叉行状記
八、四五　清水の暴れん坊

★第二いわき　二十四日迄
六、四〇　浪花の恋の物語
七、三〇　ぬれ髪三度笠
九、〇〇　頑張れどきげん娘

【勿来市】

▼菊多館　二十四日迄
鬼面の騎手　恐怖の四時間
千鳥の印籠

▼中央館　二十四日迄
どんと行こうぜ
潜水艦イ―57降伏せず
続復讐秘文字峠

▼植田館　二十四日迄
青春蛮歌　暴風圏
海から来た女

財団法人
松村病院
精神科

平市南町23　電（代表）2161

精神科　部長　坂本　剛
外科　院長　松村　亨
整形外科　部長　堀野　愛雄
性病科　医員　豊川　保雄
内科　部長　高木　浩雄
胃腸科　部長　四戸　隆太郎
神経科　部長　坂本　剛
呼吸器科　部長　金子　茂蔵
産婦人科　部長　佐藤　稔
放射線科　部長　四戸　隆太郎
臨床検査部　技師長　池田　繁一郎
技師長　佐藤　吉雄
薬局　薬局長　宇佐見　幸良

城東分院　平市手掴町二九
城南分院　平市小太郎町一八
◎入院随時（完全給食・完全看護）

出前迅速
味の
とんかつ
大宝
平市銀座通り　電二九六八

カツライスの部
松ライス　一四〇円
竹ライス　一九〇円
梅ライス　二四〇円

かつ丼の部
鶴かつ丼　一六〇円
亀かつ丼　二二〇円

ふくみたる酒の匂のおのずから独り匂えるわが心かも
（牧水）

前年に仕込んだ清酒が充分成熟して、秋口から冬にかけて古酒として出回ります。俗にこれを「冷やおろし」といつて清酒がいちばん旨い季節でもあります。

御家庭の晩酌に
鶴仙
をどうぞ!!

味覚の秋
松茸料理と釜めし
すき焼
よせなべ
急募　お座敷女中さん　下働き女中さん
寿司の
江戸川
紅小路店　電2727・4845　才槌小路店　電4846・3021

パーマは
ミヤカワ美容室
平市中央通り　電話3852

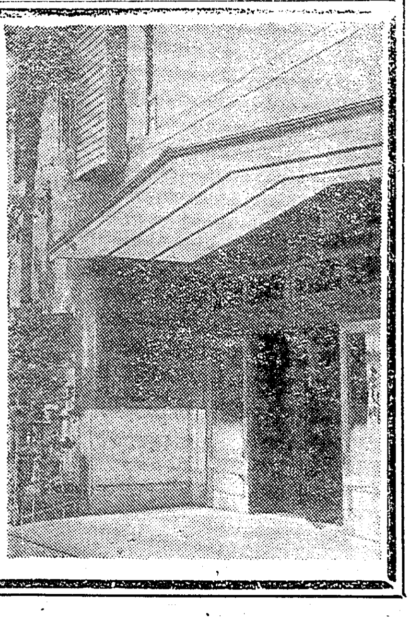
打身・神経痛・ぢ
婦人病・中風の名湯
電話一つでサービスカーがお迎えに参上致します
静養には快適
地切の湯
磐城市[illegible]　電375

常に良い仕事をしたいと念願して居ります
アドバルーンは
照都広告
平市堂根町二ノ一三
電話（平）四、九八一

紅葉峰より染る
ころともなれば
この味も
又格別

清酒
鶴仙

醸造元・合資会社
松吉屋酒造店
平市[illegible]　TEL2210


静かな部屋
デラツクスな大広間

ご婚礼シーズンには喜んで
出雲の神も努めさせて頂きます
お気軽にご利用下さい

旅館　よし川
平市田町　TEL 2282